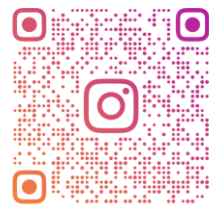
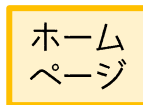




休診日
3・4・5・7
14・21・28
午前診療のみ
6・12・19・26



ONODERA_ANIMAL_HOSPITAL



ツライ！皮膚のかゆみ

わんちゃんの動物病院受診理由の約25%を占めるのが皮膚疾患です
(アニコム家庭どうぶつ白書2023)
赤み、かゆみ、時にはニオイも伴い、本人も家族もつらい病気の1つです。
主な原因は何らかの「アレルギー体質」ですが、大きく2つに分けられます。

アトピー性皮膚炎



環境中に散らばる花粉・ハウスダストなどのアレルギーに過敏に反応してしまう体質です。
皮脂のバランスや角質層の構造が崩れ、細菌、真菌(カビ)などの感染を受けやすくなります。

- ✓ かゆみ止めが効きやすい
(ステロイド、オクラシニブなど)
- ✓ 季節性がある(特に冬季は落ち着きやすい)

食物アレルギー



特定の食べ物に過敏に反応してしまう体質です。
厳密には、食物中のタンパク質の分子に反応してしまうことで症状が出ます

- ✓ かゆみ止めが効きづらい
- ✓ 背中に皮膚症状が出ることがある
- ✓ 下痢、嘔吐など消化器症状が出ることもある
- ✓ 季節性が無い

【共通点】

- ✓ 6か月齢～3歳までに発症することが多い
- ✓ 顔周り、足先、お腹周りに症状が出やすい
- ✓ 繰り返す外耳炎

アトピー性皮膚炎と食物アレルギーの比率は、圧倒的にアトピー性皮膚炎が多く、食物アレルギーを単一で持つ子はかなり少ないとされます。しかし近年ではアトピー性皮膚炎と食物アレルギーを併発している子が多いと言われており、診断・治療が複雑化しています。

お知らせ



5月3日(金)～5日(日)は終日休診となります
フード・お薬等のお取り寄せは
4月25日(木)までにご依頼ください

まだ
間に合う!

春の血液検査キャンペーン
フィラリア予防薬おまとめキャンペーン

5月31日(金)まで